

追加修正箇所①

➤ 火災気象通報基準に係る記載の修正

(修正内容)

火災気象通報基準に係る記載を以下のとおり修正する。

(理由)

火災気象通報基準が改正されたため。

(新基準運用開始日：令和元年10月24日)

(新旧対照表)

現行	修正案
<p>基本対策編 P. 342 第3 火災の警戒</p> <p>1 火災気象通報 大阪管区気象台は、気象の状況が火災の予防上危険であると認めるときは、知事に通報する。知事は市町村長に伝達する。 <u>実効湿度が60%以下で、最小湿度が40%以下となり、大阪府内（生駒山地の山頂部付近を除く。）のいずれかで、最大風速（10分間平均風速の最大値）が10m/s以上となる見込みのとき。</u> <u>但し、降雨、降雪が予測される場合は通報を取りやめることができる。</u></p>	<p>基本対策編 P. 342 第3 火災の警戒</p> <p>1 火災気象通報 大阪管区気象台は、気象の状況が火災の予防上危険であると認めるときは、知事に通報する。知事は市町村長に伝達する。 <u>通報基準は、大阪管区気象台が定めた「乾燥注意報」及び「強風注意報」の発表基準と同一とする。</u> <u>ただし、通報基準に該当する場合であっても、降雨、降雪を予想している場合には火災気象通報として通報しないことがある。</u></p>
<p>基本対策編 P. 350 第5 火災の警戒</p> <p>1 火災気象通報 大阪管区気象台は、気象の状況が火災の予防上危険であると認めるときは、知事に通報する。知事は市町村長に伝達する。 <u>実効湿度が60%以下で、最小湿度が40%以下となり、大阪府内（生駒山地の山頂部付近を除く。）のいずれかで、最大風速（10分間平均風速の最大値）が10m/s以上となる見込みのとき</u> <u>但し、降雨、降雪が予測される場合は通報を取りやめることができる。</u></p>	<p>基本対策編 P. 350 第5 火災の警戒</p> <p>1 火災気象通報 大阪管区気象台は、気象の状況が火災の予防上危険であると認めるときは、知事に通報する。知事は市町村長に伝達する。 <u>通報基準は、大阪管区気象台が定めた「乾燥注意報」及び「強風注意報」の発表基準と同一とする。</u> <u>ただし、通報基準に該当する場合であっても、降雨、降雪を予想している場合には火災気象通報として通報しないことがある。</u></p>

追加修正箇所②

➤ 大雪警報・注意報の発表基準に係る記載の修正

(修正内容)

大雪警報・注意報の発表基準に係る記載を以下のとおり修正する。

(理 由)

大雪警報・注意報の発表基準が改正されたため。

(新基準運用開始日：令和元年11月14日)

(新旧対照表)

現行			修正案		
基本対策編 P. 163～165			基本対策編 P. 163～165		
種類		発表基準	種類		発表基準
気象注意報	大雪注意報	大雪によって災害が起こるおそれがあると予想される場合で、具体的には次の条件に該当する場合である。 <u>24時間の降雪の深さが平地で5cm以上、山地で20cm以上になると予想される場合。</u>	気象注意報	大雪注意報	大雪によって災害が起こるおそれがあると予想される場合で、具体的には次の条件に該当する場合である。 <u>12時間の降雪の深さが平地で5cm以上、山地で10cm以上になると予想される場合。</u>
気象警報	大雪警報	大雪によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合で、具体的には次の条件に該当する場合である。 <u>24時間の降雪の深さが平地で20cm以上、山地で40cm以上になると予想される場合。</u>	気象警報	大雪警報	大雪によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合で、具体的には次の条件に該当する場合である。 <u>12時間の降雪の深さが平地で10cm以上、山地で20cm以上になると予想される場合。</u>